



2023年1月18日

各位

会社名 株式会社ジーエヌアイグループ
代表者名 取締役代表執行役社長兼CEO イン・ルオ
(コード番号: 2160 東証グロース)
問合せ先 ビジネスマネジメント部 部長 中野 暁弘
インベスターリレーションズ担当
(TEL. 03-6214-3600)

2022年12月27日開示の「北京コンチネントをCatalyst Biosciencesの連結子会社とし、同社を当社の連結子会社とする取引等に関するお知らせ」に関するよくあるご質問とその回答（追加）

2022年12月27日付の表記開示につきまして、最初のご質問とその回答（2022年12月30日開示）以降頂いたご質問の中から代表的なものに対して、その回答を以下に共有させていただきます。

本資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。

将来の業績に関する見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいています。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる可能性があるため、これら業績見通しに依拠した投資判断を行うことはお控え下さいますよう、お願いいたします。

実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、世界情勢などが含まれません。

この文書は、言及されている取引に基づくいかなる法域においても、売却の申し出、申し込みまたは購入の申し出の勧誘、証券の購入または申し込みの勧誘、または投票の勧誘を意図したのではなく、構成するものでもありません。いかなる法域においても、そこで適用される法に違反して、証券の販売、発行、または譲渡を行ってはなりません。

見通しや仮定の数値は、端数処理を行っております。

用例：

当社：株式会社ジーエヌアイグループ（日本単体）

当社グループ：当社および子会社

北京コンチネント：北京コンチネント薬業有限公司

CBIO：Catalyst Biosciences, Inc.

その他の用語は、2022年12月27日開示の「[当社連結子会社北京コンチネントを米国ナスダック市場上場会社Catalyst Biosciences, Inc.の連結子会社とすること及び同社を当社の連結子会社とする株式の現物出資等に関するお知らせ](#)」をご覧ください。

よくあるご質問とその回答のQ1からQ13は、2022年12月30日開示の「[2022年12月27日開示の「北京コンチネントをCatalyst Biosciencesの連結子会社とし、同社を当社の連結子会社とする取引等に関するお知らせ」に関するよくあるご質問とその回答](#)」をご覧ください。

Q14:2022年12月27日の開示資料の中で、中国国内の株主の株式を今後2年の間に買い取る予定というコメントがありましたが、この購入資金はどのように調達するのですか？

A14：当社グループは、世界各地で著名な投資銀行および商業銀行と良好な関係を持ち、また世界の株式市場にもアクセスすることができます。当社グループは、既存株主の皆様の利益を考慮し、将来の潜在的な資金需要に関してあらゆる選択肢を検討します。

Q15：CBIOは赤字会社なので、連結化すると業績に悪影響があるのでは？

A15：CBIOは、当社グループの重要な知的所有権であるF351を更に発展させるためのプラットフォームとして機能し、当社グループ株主の皆様にとっての経済価値を向上させることを視野に入れています。CBIOは、2023年第2四半期に予定されているCBIO株主総会にて取引2の承認が得られた後には、他の多くのバイオベンチャー企業とは異なり、当社グループが留保してきた利益の活用、場合によっては米国の資本市場での資金調達により、米国での研究開発資金を自社で調達することができます。これにより、今後、当社グループの財務的負担を大幅に軽減することができます。

Q16：GNIの開示資料では、CBIO（CPIなどを通じて）が北京コンチネントの55.97%を所有するとありますが、CBIOの開示資料では65.18%とあります。なぜ違うのでしょうか？

A16：取引前の当社グループ所有率55.97%に加え、本取引に賛同して、中国国外の株主がCBIO株式を取得したためです。

Q17：ナスダック市場には、株価が1ドルを下回ると警告が出され、株価が1ドルを上回らない限り上場廃止になるというルールがあります。2022年9月20日以降、CBIOの株価は1ドルを下回っていますが、ナスダック市場から上場廃止になるのでしょうか？GNIグループはどうするつもりなのでしょうか？

A17：例えば株式併合など、そのような問題に対処するために利用可能な、株式市場で頻繁に使用されるさまざまな手法があります。CBIOは、ナスダック市場および投資銀行アドバイザーと協議し、問題を解決し上場廃止要件を回避するための最も適切な措置を慎重に検討します。

Q18：米国のWeiss Lawなどの法律事務所は、この取引について「受託者責任違反やその他の法律違反の可能性を調査中」と主張しています。この取引は違法なのでしょうか？この調査は、CBIOとの取引に影響を与えるのでしょうか？

A18：ナスダック市場に上場している公開企業として、CBIOはその業務過程で発生するクレームや法的手続きの対象となる場合があります。現時点では、CBIOは、その経営陣が知る限り、CBIOの事業、業績、財務状態やキャッシュ・フローに重大な影響を及ぼすような法的手続きの当事者にはなっていません。